

日本語難易文における格の選択と意味

鈴木基伸

要旨

本稿では、日本語の難易形式「～やすい」「～にくい」が、目的格名詞句を、ガ格をとる場合と、ヲ格をとる場合とで、どのような意味の違いが生じるのかについて考察を行う。コーパスから、同じ動詞句でありながら、ガ格とヲ格が使用されている例を抽出し、それらの意味について比較・検討を行ったところ次のようなことがわかった。まず、「～やすい」においては、ヲ格を使用した場合、ガ格が使用された場合に比べ、「意志の希薄化」が見られる。「～にくい」においては、ガ格が使用された場合、ヲ格が使用された場合と比べ、動詞によって表される行為の遂行に対して焦点が当てられるようになり、意志性がより強く読み取れるようになる。この結論の他、「～やすい」「～にくい」においてヲ格からガ格へ、ガ格からヲ格への交替をブロックする要因についても明らかにした。前者については動作の「非意志性」が、後者については「評価性」「主題化可能性」がそれぞれの格交替をブロックする要因である。

キーワード：難易構文、格交替

1. はじめに

日本語の難易文（「～やすい」文、「～にくい」文）は、希望文や可能文と同様、格交替が起きる構文である。格交替の理由は、属性叙述（状態性）の強さと考えることができ、加藤重広(2013)は、希望文・可能文・難易文の中で、難易文が最もヲ格からガ格への昇格が強く要求される構文であると指摘している。難易形式はいずれも形容詞から派生したものであるため、状態性が高く、昇格が構文特性として必須となるのは納得がいく。

しかしながら、井上(1976)が指摘しているように、無意志動詞と共起し、ヲ格が

残って「傾向(～しがち)」を表す場合もある。また、意志動詞であってもヲ格が残って「傾向」を表すという佐藤(1988)の指摘もあるが、実際にはヲ格で「難易」を表し、ガ格へと交替させてもあまり意味が変わらないというケースが多く見られる。逆にヲ格が使われているが、ガ格に交替可能という逆のパターンもある。つまり、難易文の中にはガ・ヲ交替が比較的自由に生じるものもあり、その際の意味がどう違うのか、という問題についてはまだ解決に至っていないといえる。

そこで本稿では、「～やすい」文、「～にくい」文における格交替と意味の関係について分析を行う。分析方法としては、基本的に作例を用いず、コーパスから採取した実例を用いる。コーパスはBCCWJ(現代日本語書き言葉均衡コーパス)を用いる。コーパスから、「V+やすい」「V+にくい」の直前の名詞句にヲ格が用いられているものとガ格が用いられているものを検索し、採取する(以下、前者を「ヲ格難易文」、後者を「ガ格難易文」と称する)。そして、ヲ格難易文のヲをガに、ガ格難易文のガをヲに交替可能かどうかを調べる。その場合交替可能な場合と不可能な場合に分けられるが、交替可能な場合と不可能な場合の条件について考察する。また、交替可能な場合、ガ格とヲ格の入れ替えによって、どのような意味の違いが生じるのかを明らかにする。

難易文におけるガとヲは、必然的にどちらかの格が用いられている場合もあるが、条件によってはどちらも使用可能な場合がある。その場合、ガとヲが発話者によって何等かの根拠の下に選択されているといえる。この根拠とは、その難易文が産出された際に表される意味として表出する。発話者はどのような根拠によってガとヲを使い分けているのか、ガとヲの選択と難易文の意味の関係は何か、ということを明らかにするのが本稿の目的である。

2. 先行研究

井上(1976)は「～やすい」が二種類あることを指摘した。一つは動作が意志的で、目的語がガでマークされ、動作の難易を表すもの、もう一つは動作が非意志的で、目的語がヲでマークされ、「～がちだ」に置き換えられるもの、である。

- (1) 私には、この種の誤植がみつけやすい。
- (2) 近頃私は、誤植を見落としやすくなりました。

(井上 1976 : 137)

この井上(1976)の分析は、難易文の意味には、動作の意志性と格配列が関与すること

を指摘するものである。井上の指摘をうけ、佐藤(1988)は、意志動詞であっても、ヲ格を用いることで「傾向」の意味になることを指摘した。

- (3) 学生はこの辞書が使いやすい／にくい。
- (4) 学生はこの辞書を使いやすい／にくい。

(佐藤 1988 : 71)

加藤紀子(2000)は、「傾向」を意志性の有無からさらに二分し、「頻度」と「性質」に分けた。(5)は「頻度」、(6)は「性質」の例である。

- (5) 学生は結婚式をこぢんまりしたレストランで挙げやすい。
- (6) よいチョコレートは溶けやすい。

(加藤紀子 2000 : 297f.)

渡邊(2007)は、これまでの「難易」「傾向」の分類を「可能難易文」と「生起難易文」に分け、さらに両者の中間に、難易を表すものの、行為者が意識されず、格交替も起こらない「『洗濯物が乾きやすい』型難易文」を設定した。また、「生起難易文」も、一回性の生起を想定したものと、複数回の生起を想定したものとに分けた。

井上(1976)から始まった難易文の研究(共時)は、動作の意志性、格配列、表される意味、という点から、細分化が進められてきたといえる。ただ、これまでの研究はあくまで基の動詞句¹⁾で用いられていた格が難易文になった際にガ格へ変化した、もしくはそのまま使用されている、という格交替の話である。本稿が着目するのは、難易文において使用されているガ格・ヲ格を交替しても意味の違いがさほど生じない場合があり、その際ガ・ヲの違いはどこに求めることができるのだろうか、ということである。つまり、構文特性に伴う格交替ではなく、格の入れ替え、すなわち任意の格交替に伴う意味の変化が考察の対象となっているのだが、管見の限りでは、このことに関する有力な説は唱えられていない。

3. 本稿で用いる用語について

格の交替と意味の関係について論じる前に、本稿で用いる用語について説明しておく。難易文では希望文や可能文と同様、ガ・ヲ交替が生じるが、ヲ格以外のデ・カラ・ニ格もガ格へと交替する²⁾。

- (7) a. 私には、ジョンが説得しやすい。
 b. 私がジョンを説得する。
- (8) a. われわれには、この鍋が揚げ物をしやすい。
 b. われわれがこの鍋で揚げ物をする。
- (9) a. 大きな団体には、大阪駅が出発しやすい。
 b. 大きな団体が大阪駅から(を)出発する。
- (10) a. メアリーには、駅前通りが買物をしやすい。
 b. メアリーが駅前通りで買物をする。
- (11) a. 私は、この箱が小物を入れやすい。
 b. 私がこの箱に小物を入れる。
- (12) a. 彼には、この家が住みやすい。
 b. 彼がこの家に住む。

(井上 1976 : 138f.)

加藤(2008、2013)は、ガ格を非斜格、それ以外を斜格とし、さらに以下のような格階層分類を設定した。

- (13) 格助詞階層区分 (加藤 2013 : 40)

非斜格	斜格		
基幹格	第一斜格	第二斜格	第三斜格
が	を・に	で・と・から・まで・より	と一緒に、までに、について…
基本格助詞			複合格助詞

そして、斜格から非斜格に転じることを「昇格 (promotion)」、斜格がそのまま残ることを「残留」、非斜格から斜格に転じることを「降格 (demotion)」とした。

- (14) 本を読む。
- (15) 本が読みにくい。【昇格】
- (16) 本が読みにくい。【残留】

- (17) 太郎がその小説を読む。
- (18) #太郎がその小説が読みやすい。【昇格】
- (19) 太郎にその小説が読みやすい (だろうか)。【降格十昇格】
- (20) *太郎にその小説を読みやすい。【降格】

(加藤 2013 : 43)

本稿では、基の動詞句においてヲ格が使用されている場合に、ガ格へと昇格している難易文と、ヲ格がそのまま残留して使用されているヲ格難易文について比較する。そして、それぞれの格の交替可能性、意味の違いについて考察する。その際、残留のヲ格をガ格へと交替させることを「昇格」と称するが、すでに昇格しているガ格難易文をヲ格へと交替させるときには、「降格」とは呼ばない。なぜなら、降格とは基の動詞句においてガ格が用いられているものがニ格へと交替することを指すからである。ゆえに、ガ格難易文をヲ格へと交替させるときは、「ヲ格の復元」もしくは単純に「復元」と称する。用語とそれに対応する例文を以下に示す。

ヲ格難易文 / ヲ格残留 / 残留 ³⁾	本を読みやすい (基の動詞句: 本を読む)
ガ格難易文	本が読みやすい (基の動詞句: 本を読む)
昇格	本を読みやすい (実例) → 本が読みやすい (作例)
ヲ格の復元	本が読みやすい (実例) → 本を読みやすい (作例)

4. 格の選択と意味について

4.1. 例文の抽出方法と検索結果

本節では、コーパスから採取したガ格難易文、ヲ格難易文を比較しながら、交替の可能性、交替の条件、交替可能な場合の意味の違いについて明らかにしていく。前述したように、コーパスはBCCWJを使用する。コーパス検索アプリ「中納言」に、以下のような検索条件を設定し、4つの構文パターンを検索する。

短単位検索			
	前方共起	キー	後方共起
①	が	「品詞」の「大分類」が「動詞」 AND 「活用形」の「大分類」が「連用形」	やすい
②	を		
③	が		にくい
④	を		

その結果、出現総数、異なり語数、出現動詞の種類は、以下のようであった。

	構文パターン (出現総数) (異なり語数)	出現動詞
1	ガVヤスイ (2401) (350)	<p>合う, 上がる, 温まる, 当たる, 扱う, 集まる, 集める, 現れる, 表れる, 歩く, 合わせる, 泡立つ, いう, 生きる, 傷む, 受ける, 動く, 打ち出す, 打つ, 写る, 移る, 映る, 生まれる, 生む, 得る, 起きる, おく, 行う, 起こる, 教える, 押す, 落ちる, 及ぶ, 解する, 輝く, かかる, 書く, 嘔む, 絡む, 乾く, 交わす, 変わる, 考える, 消える, 聞き取る, 効く, 利く, 聞こえる, 築く, 切り出す, 切れる, 腐る, 崩れる, 組む, 暮らす, くる, 狂う, 加わる, こもる, 壊れる, 下がる, 刺さる, 定まる, 錆びる, 冷める, 示す, 生ずる, 透ける, 進む, 捨てる, 滑る, 住む, する, ズれる, 座る, 育つ, 育てる, 揃える, 出す, 立つ, 立てる, 食べる, たまる, 近づく, 通ずる, 使う, つかむ, 掴む, 疲れる, つく, 付く, 作る, つける, 伝わる, つながる, 繋がる, できる, 出来る, 出る, 通る, とおる, 溶ける, 閉じる, 途絶える, 届く, 整う, とぶ, 止まる, 捉える, とらえる, 取り入れる, 取り出す, とつつく, とる, 取る, 採る, 撮る, とれる, 取れる, 治る, 直る, 流れる, なじむ, 成り立つ, なる, にげる, 抜く, 抜ける, 捻れる, 根付く, 残る, 延びる, 伸びる, 述べる, 飲み込む, 飲む, のる, 入る, はいる, 生える, 凶る, 働く, 話す, 貼り付ける, ばれる, 響く, 開く, 拾う, 広がる, 増える, 太る, 触れる, 減る, 報ずる, 曲がる, 曲げる, 混ざる, 混ぜる, まとまる, 回る, 見いだす, 見える, みえる, 見きわめる, 見つかる, 見つける, 見る, 見分ける, 結びつく, 目立つ, 燃える, 持つ, もつ, やる, 汚れる, 呼ぶ, 読み込む, 読み取る, 読む, 寄る, 分る, わかる, 解る, 分かる, 判る, わく, 沸く, 湧く, 割れる</p>
2	ヲVヤスイ (1041) (224)	<p>あける, 空ける, 開ける, 上げる, 挙げる, あぎむく, 与える, 扱う, 集める, 当てがう, 当てる, 誤る, 洗う, あらわす, 現す, 歩く, 合わせる, いう, 抱く, いただく, 傷める, 痛める, 逸する, 入れる, 受け入れる, 受けとる, 受け取る, 受ける, 動かす, 動く, 失う, 喪う, 打つ, 生み出す, 生む, 産む, 売る, 描く, えがく, 選ぶ, より出す (選り出す), 得る, 追い出す, 追う, 犯す, 置く, 遅らせる, 送る, 起こす, 起す, 行う, おさえる, 押さえる, おさめる, 落とす, 帯びる, 覚える, 思い浮かべる, 買いかぶる, 害する, 買う, かう, 変える, かかえる, (汗)かく, 書く, 隠す, かける, かぞえる, かぶせる, 被る, かわす, 考える, 感ずる, (口)をきく, 築く, 傷つく, 傷つける, きたす, 気づく, 決める, 切り取る, 切る, 食う, 崩す, くずれる, くばる, 組み立てる, 加える, こうむる, こぼす, ごまかす, 壊す, 避ける, 差し込む, 差し延べる, 定める, さびる, 妨げる, 仕掛ける, 仕組む, 親しむ, しのぐ, 絞り込む, 示す, 背負い込む, 生ずる, 調べる, 信ずる, 吸い取る, 吸う, 過ごす, 進める, する, 狭める, 育てる, 耐える, 蓄える, 出す戦う, 立てる, 建てる, たどる, 頼む, 食べる, ため込む, 溜め込む, 溜める, 保つ, 使う, 捕まえる, つかむ, つく, つくり上げる, 作る, 付ける, 伝える, 続ける, 呈する, 遠ざける, 通す, 通る, 整える, 止める, 伴う, 捉える, 取り入れる, 取り込む, 取り出す, 取り違える, 取り付ける, とり除く, 取る, 撮る, 流す, なくす, 握る, 抜く, 抜け出す, 抜ける, 狙う, 乗せる, 伸ばす, 乗り越える, 剥がす, (コミュニケーション)をはかる, 測る, 運ぶ, 走る, 外す, 話す, 引き起こす, 引きずる, 引き出す, 引く, 引っかける, 開く, 拾う, 含む, 防ぐ, ぶつける, 踏む, 増やす, 掘る, 巻き上げる, 巻き込む, 巻き付ける, まく, まくる, 間違える, まとめる, 招く, 守る, 迷う, まわす, 見失う, 見える, 見極める, 見せる, みちびく, 見つける, 見抜く, 見逃す, 見る, 向ける, 結ぶ, めくる, 巡る, 申しつける, もたらす, 持つ, もつ, 求める, 燃やす, もらう, やる, 汚す, 呼ぶ, 読む, わかる, 解る, 分かる, わずらわせる, 渡る</p>

日本語難易文における格の選択と意味

	構文パターン (出現総数) (異なり語数)	出現動詞
3	ガVニクイ (880) (119)	合う、上がる、温まる、当たる、扱う、集まる、集める、現れる、表れる、歩く、合わせる、泡立つ、いう、生きる、傷む、受ける、動く、打ち出す、打つ、写る、移る、映る、生まれる、生む、得る、起きる、おく、行う、起こる、教える、押す、落ちる、及ぶ、解する、輝く、かかる、書く、嘔む、絡む、乾く、交わす、変わる、考える、消える、聞き取る、効く、利く、聞こえる、築く、切り出す、切れる、腐る、崩れる、組む、暮らす、くる、狂う、加わる、こもる、壊れる、下がる、刺さる、定まる、錆びる、冷める、示す、生ずる、透ける、進む、捨てる、滑る、住む、する、ズれる、座る、育つ、育てる、揃える、出す、立つ、立てる、食べる、たまる、近づく、通ずる、使う、つかむ、掴む、疲れる、つく、付く、作る、つける、伝わる、つながる、繋がる、できる、出来る、出る、通る、とおる、溶ける、閉じる、途絶える、届く、届く、とぶ、止まる、捉える、とらえる、取り入れる、取り出す、とつつく、とる、取る、採る、撮る、とれる、取れる、治る、直る、流れる、なじむ、成り立つ、なる、にげる、抜く、抜ける、捻れる、根付く、残る、延びる、伸びる、述べる、飲み込む、飲む、のる、入る、はいる、生える、図る、働く、話す、貼り付ける、ばれる、響く、開く、拾う、広がる、増える、太る、触れる、減る、報ずる、曲がる、曲げる、混ざる、混ぜる、まとまる、回る、見いだす、見える、みえる、見きわめる、見つかる、見つける、見る、見分ける、結びつく、目立つ、燃える、持つ、もつ、やる、汚れる、呼ぶ、読み込む、読み取る、読む、寄る、分る、わかる、解る、分かる、判る、わく、沸く、湧く、割れる
4	ヲVニクイ (263) (100)	あげる、上げる、与える、集める、洗い落とす、荒らす、いう、いう、抱く、痛める、入れる、受け入れる、うける、受ける、失う、生み出す、生む、埋め込む、得る、追い込む、追う、おかす、起こす、行う、押さえる、帯びる、覚える、変える、かく、書く、かける、からめる、借りる、考える、感ずる、きく、築く、切る、くぐる、くみ取る、断る、下げる、支える、さびる、生ずる、知る、吸う、住む、する、高める、足す、出す、立てる、頼む、食べる、ためる、保つ、近づける、縮める、つかまえる、つかむ、つくる、作る、造る、つける、伝える、包む、通す、届く、留める、とらえる、捉える、捕らえる、とる、採る、取る、流す、投げる、狙う、走る、ひく、拾う、ふみこむ、招く、見いだす、見出す、見える、見切る、みつける、見つける、見る、結ぶ、設ける、申し立てる、燃える、もつ、持つ、求める、破る、よせつける

これらの中から、ガ・ヲ交替の可能性のある動詞を抽出する。ガ格難易文とヲ格難易文の両方に出現している動詞であれば、ガ・ヲ交替は不可能ではないといえる。それらを、「～やすい」における重複動詞、「～にくい」における重複動詞として以下に示す。

(21) 「～やすい」重複動詞

かける、する、つかむ、つく、まわす、めくる、やる、わかる、扱う、育てる、引き出す、引く、運ぶ、過ごす、解る、開く、覚える、感ずる、間違える、気づく、起こす、決める、見える、見つける、見る、いう、呼ぶ、行う、合わせる、作る、撮る、使う、持つ、取り入れる、取る、守る、受ける、受け取る、受け入れる、出す、書く、食べる、伸ばす、親しむ、進める、生ずる、戦う、選ぶ、狙う、走る、捉える、打つ、置く、調べる、通る、伝える、当てる、動かす、動く、得る、読む、入れる、買う、売る、

抜ける、描く、付ける、分かる、歩く、防ぐ、頼む、話す

(22) 「～にくい」重複語

する、つかむ、つける、とらえる、とる、もつ、見いだす、見える、見つける、見る、いう、考える、行う、採る、作る、持つ、取る、受ける、捨てる、集める、住む、出す、書く、食べる、生ずる、生む、捉える、築く、得る、届く、燃える、立てる

この中には、目的格ではなく、動作主のガ格がヒットした検索結果もある。ゆえに、それらは排除する必要がある。さらに、ガ格とヲ格の選択と意味の違いを検証するために、同じ目的語名詞句が用いられている例文を採取し、両者の比較検討を行う。以下では、次の手順で考察を進める。「～やすい」「～にくい」の両形式において、「ヲ→ガ」「ガ→ヲ」の交替が可能な例を提示する。その後、ヲからガへの昇格、ガからヲへの残留の復元が不可能な例を見て、昇格と残留の復元とがブロックされる原因について考察する。そしてそれをふまえ、交替が可能となっている例を見ながら、格の選択と意味の関係について論じる。

4.2. 「～やすい」

4.2.1. 交替が可能な場合

「～やすい」文における、目的語名詞句も含めた重複動詞句には、「声をかける」、「食事をする」、「仕事をする」、「地図をめくる」、「文章を読む」などがあつた。これらの動詞句が、ガ格難易文、ヲ格難易文となっている例を以下に示す⁴⁾。

【声をかける】

- (23) a. 今朝電車の中で (そんなに混んではなかったけれど、座席は満員)、声がかけやすかったのか、妊婦さんが高齢者の方に「すみません、妊娠しているので座らせてください」と自ら席を譲ってもらっていました。
(BCCWJ、Yahoo! 知恵袋、OC10_03694)
- b. 会社員です。たまに集配に来る宅急便のお兄さんが気になっています。でも、話すきっかけがなくて。。集配の時は、事務所の同僚が見てるので恥ずかしいし。みなさんならどうしますか？【中略、以下質問に対する回答】伝票に担当者の名前などが記載されていませんか？名前がわかれば「○○さん、ご苦労様～」など声をかけやすいし、暑い日など、冷たい缶コーヒーなどをそっと差し入れしてみは？

(BCCWJ、Yahoo! 知恵袋、OC09_04961)

【文章を読む】

- (27) a. 学校紹介パンフレットの作成手順を考えて、手順どおり作業を進めます。1 全体のレイアウトをきめ、簡単に書式設定をして文章を入力する。▼2 作成した文書に対して、訂正、削除、挿入などを行う。▼3 文章が読みやすいように、文字の大きさや文字フォントを変更する。

(BCCWJ、『新しい技術・家庭 技術分野』、OT52_00004)

- b. セミコロンは前後の文の内容が関係していることを示し、1. 接続詞で結ばれた元の文を二つの短い文に分けることで、文章を読みやすくする 2. セミコロンの前後の文を対比させる 3. セミコロンの前の文が、後の文に続く感じを出し、後の文を強調する効果があります。

(BCCWJ、Yahoo! 知恵袋、OC12_05509)

これらの動詞句は、ガ格難易文、ヲ格難易文ともに出現するものであるため、格の交替が可能である。次に交替が不可能な例を見て、その条件を探る。

4.2.2. 交替が不可能な場合

まず、ヲからガの交替（昇格）が不可能な例を見る。

- (28) 患者の予後が、医学・生物学的な面でも社会・環境的な支配を受けやすい。

(BCCWJ、『変革の給食ビジネス』、LBI6_00011)

- (29) アンモニアは大気に触れると危険物質に転化し、人体に身体不良を起こしやすいといわれている。

(BCCWJ、『悪者見参』、LBo7_00057)

これらのヲ格難易文を、ガ格へと昇格させることはできない。

- (30) *社会・環境的な支配を受けやすい

- (31) *人体に身体不良が起こしやすい

第2節で述べたように、無意志動詞が「～やすい」と共起すると、ヲ格は残留し「傾向」の意味を表す。したがって、ヲ格の使用には非意志性が関与すると考えられるが、実際に(28)(29)の「支配を受ける」、「身体不良を起こす」は非意志的事態である。このことから、ヲ格難易文の昇格をブロックするのは、事態の非意志性であると考えられる。

次にガ格からヲ格の交替（ヲ格の復元）が不可能な例を見る。実は、復元は認めら

れる場合が多く、完全にブロックされる例をコーパスで探そうとしても、なかなか見つからない。もちろんあるにはあるのだが、非意志性が昇格をブロックしたのとは異なり、意志性が降格をブロックするわけではない。

- (32) シャープの長谷川常務は「iPhone には日本のケータイが搭載するワンセグや電子マネーなどの機能がない。また、日本にはメール文化があり、メールが使いやすいかが携帯を選ぶポイントになっている。

(BCCWJ、Yahoo! ブログ、OY14_08394)

- (33) 文書処理ソフトウェアの基本的な画面構成の例学校紹介パンフレットの作成【中略】▼3 文章が読みやすいように、文字の大きさや文字フォントを変更する。(BCCWJ、『新しい技術・家庭技術分野』、OT52_00004)

これらを以下のように変えても違和感はない。

- (34) メールを使いやすいかが携帯を選ぶポイントになっている。
(35) 文章を読みやすいように、文字の大きさや文字フォントを変更する。

ではどのような場合に降格がブロックされるのかというと、以下のような、ガ格名詞句に対する「視点者⁵⁾による難易の評価」という側面が強いものである。

- (36) 著者は（ご本人によれば）運よく最初にその上がりの場所に就職し、そのままトダイキョウジュとなった人だ。本書は、そういう人による「実践的体験の大学論」である。語り口調の文章が読みやすい。

(BCCWJ、神戸新聞、PN5k_00002)

- (37) 中古パソコンの失敗しない買い方を教えてください！【以下、質問に対する回答】ヤマダ電機で買しましょう、(中略)一年落ちぐらいの物がおすすめ。持ち歩くなら軽い物、15インチ画面が見やすい。

(BCCWJ、Yahoo! 知恵袋、OC02_06841)

- (38) 調査の目的や内容によって持っていく物は異なるけれども、一般の調査に必要な物を示すと、1 調査ノート 聞き取り調査や調査カードに記入できない事項などを記す (中略) 6 カメラ 三十五ミリ判カメラが適当。コンパクトで使いやすいものがよい 7 フィルム SS 級が使いやすい。

(BCCWJ、『日本石仏事典』、LBj7_00052)

これらのガ格をヲ格へと復元させることはできない。

(39)??語り口調の文章を読みやすい。

(40)??15インチ画面を見やすい。

(41)??SS級を使いやすい。

(36)～(38)の「～やすい」文は、いずれもガ格名詞句に焦点が当てられ、それに対する視点者からの評価が表されている。それはいわば名詞句の属性を述べていると考えられるため、ガをハにして主題化することが可能である。

(42) 語り口調の文章は読みやすい。

(43) 15インチ画面は見やすい。

(44) SS級は使いやすい。

ヲ格の復元が可能であった(32)(33)は、(36)～(38)に比べ、「ガ格名詞句に対する評価」という側面は弱い。また構文的にも主題化は不可能である。

(45) *メールは使いやすいかが携帯を選ぶポイントになっている

(46) *文章は読みやすいように、文字の大きさや文字フォントを変更する

以上のことを考慮すると、「ガ→ヲ交替」をブロックするのは、意志性ではなく、評価性、主題化可能性ということになる。

4.2.3. 「～やすい」文におけるガ格とヲ格の選択と意味について

前節での考察を手掛かりに、交替がなぜ可能になるのか、格交替が行われた際の意味の違いは何か、という点について考える。4.2.1節で取り上げた例文の基の動詞句は、「声をかける」、「食事をする」、「仕事をする」、「地図をめくる」、「文章を読む」の5つであった。これらは全て意志性が認められる。この[+意志性]という要素が、ヲ格からガ格への昇格を許していると考えられる。

次に降格についてであるが、提示した5つの昇格難易文((25a)～(29a))を見てみると、いずれも「ガ格名詞句に対する評価」という意味合いは強く出ていない。「～やすい」に後部要素が接続しており、「声」、「食事」、「仕事」、「地図」、「文章」に対する視点者からの評価を表しているわけではないし、主題化もできない。この点で、降格をブロックする要素は無いといえる。

ガ・ヲどちらも使用可能な (23)～(27) は、[+意志性] [-評価性] [-主題化可能性] という昇格、降格を可能にする条件を備えていることがわかる。では格を交替した際の意味の違いをどこに求めることができるのかを考えてみよう。

ヲ格からガ格への昇格をブロックするのは非意志性であった。しかしながら、意志性はヲ格の復元をブロックしない。しかしながら、ヲ格の復元操作を加えることによって、「意志の希薄化」が見られることがわかる。意志の希薄化とは、その行為を行おうとする意識が薄れるということである。以下に (23)～(27) から難易文を抜き出し再掲する。両者を比較しながら、ヲ格難易文において意志の希薄化が見られるかどうかを検証する。

基の動詞句	昇格難易文	残留難易文
声をかける	(23a) 今朝電車の中で、 <u>声</u> がかけやすかったのか、	(23b) 名前がわかれば「〇〇さん、ご苦労様～」など <u>声</u> をかけやすいし、
食事をする	(24a) 味覚はもとは戻りませんが、 <u>食事</u> がしやすくなったり、	(24b) 使うものだけ出して、 <u>食事</u> をしやすいように考えられた合理的な、イギリスのテーブルコーディネート
仕事をする	(25a) その間にこっちは <u>仕事</u> がしやすくなるんだ。	(25b) まわりの人に好かれたい、そのほうが <u>仕事</u> をしやすい、というのなら、
地図をめくる	(26a) グローブをしたままでも <u>地図</u> がめくりやすいように	(26b) <u>地図</u> をめくりやすいグリップフィンガーも採用される
文章を読む	(27a) <u>文章</u> が読みやすいように、文字の大きさや文字フォントを変更する。	(27b) 二つの短い文に分けることで、 <u>文章</u> を読みやすくする

ヲ格を使用することによって、構文的には、「傾向」を表す [～ヲ+無意志動詞+やすい] の形に近づく。「～しがち」によって表される「傾向」は、非意志性が強いため、それを表す構文的特徴を取ることによって、意味も非意志の方向に傾くというのはロジックとして成立する。ただ、(26a) と (26b) の間に、「食事をする」という行為に対して意志性の度合いが異なるか、ということについて判断が難しいといえ、一概に「意志の希薄化」によって処理することは合理的ではない。

しかしながら、意志的な行為の中でも、意識せずに自然とそうになってしまう、というものも少なからずある。例えば、「食事をする」、「仕事をする」などは、「自然と」することはないが、「声をかける」、「地図をめくる」などは、「自然と」、「無意識に」するという状況は想定可能である。

- (47) ?? {自然と／無意識に} 食事をした。
- (48) ?? {自然と／無意識に} 仕事をした。
- (49) {自然と／無意識に} 声をかけた。
- (50) {自然と／無意識に} 地図をめくった。

これを見ると、意志的行為の中でも、意志が必然となるものと、そうでないものとは分類するのが可能だということがわかる。後者の場合、意志が希薄化するということが可能である。根拠は、「自然と」、「無意識に」という副詞が共起しうるからである。

以上のことから、ガ格難易文に用いられている基の動詞に、「意志の希薄化」の可能性がある場合、ヲ格の復元によって、その意味が表される可能性があるといえる。そして実際に、(23) (28) において、ヲ格難易文では、ガ格難易文に比べ、「意志の希薄化」の解釈が可能である。(23b) は「名前がわかる」ことによって、「声をかける」ことがより自然にできるようになると考えることもできるので、「意志の希薄化」による容易さが「声をかけやすい」によって表されていると考えられる。一方、(23a) の「声がかげやすい」は、単なる「容易さ」だけである。また (26b) は文脈からは判断しがたいが、ヲ格を使用することにより「意識せず自然と地図がめくれる」という解釈になるだろう⁶⁾。

また、意志の希薄化が行為の不実現につながってしまったら、容易さを表すことにはならないが、そのような解釈にはならず、意志が希薄化することにより行為の遂行・実現に対する迷いなくなり、その結果行為が容易であることが表されている。ただし、この解釈が成立するのは、基の動詞句にそのような解釈が可能な場合に限られる。したがって、「食事をする」、「仕事をする」、「文章を読む」のような動詞句が使用されている場合、ヲ格復元による「意志の希薄化」の解釈は成立しにくい。このような、「意志の希薄化」が不可能な動詞についてはどう説明すべきであろうか。少し視点を変えて、構文的要因からの説明を試みたい。そもそも、ヲ格難易文のヲは、基の動詞句にあるヲと同じなのだろうか。既に述べたように、難易形式は形容詞的性質を強く持つ。そして形容詞はヲ格を取ることはできない。取ろうとすれば、「～する」を付ける必要がある。

- (51) *太郎をイケメン。
- (52) 太郎をイケメンにする。
- (53) *テーブルの高さを高い。
- (54) テーブルの高さを高くする。

ヲ格難易文は、それだけでは座りが悪いが、(56) (58) のように「～する」を付けると容認可能となる。

- (55) #このコップを持ちやすい。
- (56) このコップを持ちやすくする。

- (57) #この画面を見やすい。
(58) この画面を見やすくする。

つまり、(56) (58) におけるヲ格は基のヲ格が残留しているのではなく、「～する」が要求している格だと考えることができる。このように考えると、(24b) のヲ格は、「文章を読む」のヲではなく、後ろの「する」によって要求されているものと考えられる。したがって (24b) におけるヲ格の使用は構文上要請されるものであるため、(24a) との意味的な違いを見つけるのが難しいといえる。

また、連体修飾構造もヲ格を容認しやすくなる構造だといえる。特に、被修飾の名詞句が具体的な物ではなく、その場の状況や環境だとヲ格を容認しやすい。

- (59) #パンを食べやすい
(60) パンを食べやすい食器の配置
(61) #悪口をいいやすい
(62) 悪口をいいやすい雰囲気

(24b) は様子を表す形式名詞「～よう」が付いている。構造としては連体修飾の形になっているため、ヲ格が容認されるのであろう。また、(25b) は別の構文的理由が考えられる。それは、ガ格を用いると二重ガ格になってしまうということである。「その方が仕事がしやすい」ではなく「その方が仕事をしやすい」とすることによって二重ガ格を避けることができ、座りがよくなるため、ヲ格が選択されていると考えられる⁷⁾。

4.3. 「～にくい」

4.3.1. 交替が可能な場合

「～にくい」文において、目的語まで含めた動詞句が、ガ格難易文、ヲ格難易文で重複しているのは、「仕事をする」、「休暇／年休をとる」、「関係を築く」、「情報を得る」などであった。以下に例を提示する。

【仕事をする】

- (63) a. 筐口があわてて立ち上る。「ゆっくりじゃなくて、すぐに説明してよ！」つかみかからんばかりの勢いで、それは私と夕子も呆気にとられるほどだった。「一ま、簡単にいえば、ご主人は以前、結婚詐欺で逮捕されたことがあるんですよ」と、私はいった。「それは無罪になっ

たが、仕事がしにくいので、別の名を名のってるんでしょ」「結婚…詐欺？」
(BCCWJ、『幽霊教会』、LBI9_00011)

- b. 一緒に仕事をしにくい嫌味な上司に悩んでいる方、いろいろ意見聞かせてください
(BCCWJ、Yahoo! 知恵袋、OC04_02102)

【休暇／年休をとる】

(64) a. 又、従業員が十名以上の会社では「就業規則」作成が義務付けられています。「就業規則」の中に休暇の基準が盛り込まれます。有給休暇が取りにくいという会社は結構耳にしますが、「無い」というのは違法です。
(BCCWJ、Yahoo! 知恵袋、OC04_02208)

- b. 日本労働研究機構「年次有給休暇に関する調査研究」(二千二年)によると、年次有給休暇を取り残す理由としては、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が多い順に、(中略)「職場の周囲の人が取らないので年休を取りにくいから」(同四十八. 四%)となっている。
(BCCWJ、労働経済白書、OW6X_00230)

【関係を築く】

(65) a. とくに幼児期では、全般に消極的でおとなしい子ほど友だちができにくいといえるでしょう。さらに、母子分離がうまくできていない場合、友だちと関係が築きにくいこともあるようです。

(BCCWJ、『やさしくわかる発達心理学』、LBt1_00016)

- b. アジア諸国(特にASEAN)と対等につき合おうと考えても、すでに先進国入りした日本からはなかなかフラットな関係を築きにくいのも事実だ。

(BCCWJ、『中国・アジアビジネス WTO 後の企業戦略』、PB23_00277)

【情報を得る】

(66) a. 情報という点では、松江で隠岐の情報が得にくいというのは事実です。松江がもっと、隠岐の情報発信基地にならねばなりませんし、松江と隠岐の情報が一元的に得られるパンフレットなども必要でしょう。
(BCCWJ、市報松江、OP82_00002)

- b. 人が多く目撃者も多いと思われる都会等における犯行が、実際には、都会の死角ともいべき場所や時間帯に敢行されることが多いため、有効な目撃情報を得にくいことや、直接自分に関わりのないことには

無関心、非協力的な態度を取る者も少なくないことなどから、聞き込み捜査等の「人からの捜査」が困難になってきている。

(BCCWJ、警察白書、OW3X_00202)

いずれの動詞句もヲ格でもガ格でも出現しているものであるため、ヲ格難易文をガ格へ、ガ格難易文をヲ格へと交替させることが可能である。

4.3.2. 交替が不可能な場合

「～やすい」では、昇格は非意志性によって、ヲ格復元は評価性、主題化可能性によってブロックされたが、「～にくい」ではどうであろうか。まず、昇格がブロックされる例を見る。

- (67) エンジン周辺には、様々な電気ノイズが発生している。だが、純正コンピュータの場合は、シールドがしっかりしているのでその影響を受けにくい。
(BCCWJ、CAR BOY、PM45_00188)
- (68) ベッドの高さは高いほうが介護する人が腰を痛めにくいのですが、高さは低めにしています。
(BCCWJ、『白い春風のように』、PB24_00062)
- (69) 基底状態での最外殻電子配置は ns2np6 であり、きわめて安定な閉殻構造をとる。それゆえ二原子分子を作る傾向はまったくなく、単原子分子で不活性で化合物を作りにくい。
(BCCWJ、『化学の扉』、LBo4_00005)

これらはいずれも昇格させることはできない。

- (70) ?シールドがしっかりしているのでその影響が受けにくい
(71) ?ベッドの高さは高いほうが介護する人が腰が痛めにくいのですが
(72) ?単原子分子で不活性で化合物が作りにくい

「～やすい」と同様、非意志性、非自己制御性が昇格をブロックしているといえよう。次にヲ格の復元がブロックされている例を見る。

- (73) 正直ってそのときは何がおもしろいのかさえわからなかった『鎮増私間書』に取り組むはめになったのである。だが、やりはじめてみるとこれはなかなか難物だった。だいたい、くずし字が読みにくい。
(BCCWJ、『室町お坊さん物語』、LBn1_00010)

- (74) 嫌い・苦手な漢字・ひらがなになってありますか？【以下、質問に対する回答】
「州」が書きにくいです。なんか横に広くなっちゃって。

(BCCWJ、Yahoo! 知恵袋、OC12_01473)

これらのガ格難易文をヲ格復元させると以下のようになり、適格性が劣るようになる。

- (75) ?くずし字を読みにくい

- (76) ?「州」を書きにくい

(73) (74) の「～にくい」文はいずれも視点者による評価という意味合いが強い。そのため、主題化が可能である。

- (77) くずし字は読みにくい

- (78) 「州」は書きにくい

「～やすい」と同様、視点者による評価性、主題化可能性が降格をブロックしていると考えられる。

ただ、評価性、主題化可能性による「～にくい」のヲ格復元のブロックは、「～やすい」ほど強力ではない。いい切り形で名詞句に対する難易の評価が表されているように見えても、ヲ格復元が可能となる場合が多い。

- (79) 銀行ローンは景気に左右されやすく、安定した資金計画がたてにくい。
(BCCWJ、住宅金融公庫融資の廃止・存続に関するアンケート結果報告書、PB13_00254)

- (80) しかし、直正が藩主とはいえ、父の前藩主斉直がいるし、斉直の寵臣たちも重職についていたから、思い切った改革がやりにくい。

(BCCWJ、『“御家” 立て直し』、LBs2_00022)

- (81) プラスチックのクリアファイルは色付きのものが沢山製造されているが、内容物が落ちないように縦型になったものは少ない。また、プラスチック製だと、タイトルなどが書きにくい。

(BCCWJ、『「超」整理法』、OB4X_00032)

これらはガ格名詞句に対する評価を表しているが、降格がブロックされている例と異

なるのは、文意を保ったまま主題化ができないということである。

- (82) 安定した資金計画はたてにくい。
- (83) 思い切った改革はやりにくい。
- (84) タイトルなどは書きにくい。

もちろんこれらは文法的に正しいが、(79)～(81)における「～にくい」とは意味が異なる。なぜなら、(82)～(84)の「～にくい」は従属節によって示された状況・条件下での評価であり、ガ格名詞句が常に持つ属性を述べているわけではない。したがってハを用いると「～やすい」によって表される容易さの属性が常に成立するような解釈になってしまうため、同じ意味を保ったまま主題化はできない。このことから、評価性よりも、文意をキープしたまま名詞句を主題化できないという点が、降格のブロックに影響しているようである。

4.3.3. 「～にくい」文におけるガ格とヲ格の選択と意味について

4.2.3節と同様、すでに提示したガ格難易文とヲ格難易文を比較する形で再掲し、考察を進める。

基の動詞句	昇格難易文	残留難易文
仕事をする	(63a) 無罪になったが、仕事 <u>が</u> しにくいので、別の名を名 <u>の</u> ってるんでしょう	(63b) 一緒に仕事 <u>を</u> しにくい嫌味な上司に悩んでいる方、
休暇／年休を取る	(64a) 有給休暇 <u>が</u> 取りにくいという会社は結構耳にしますが、	(64b) 職場の周囲の人が取らないので <u>年休</u> を取りにくいから
関係を築く	(65a) 母子分離がうまくできていない場合、友だちと関係 <u>が</u> 築きにくいこともあるようです。	(65b) すでに先進国入りした日本からはなかなかフラットな関係 <u>を</u> 築きにくいのも事実だ。
情報を得る	(66a) 松江で隠岐の情報 <u>が</u> 得にくいというのは事実です。	(66b) 都会の死角ともいべき場所や時間帯に取行されることが多いため、有効な目撃情報 <u>を</u> 得にくいことや、

「～やすい」文考察の際には、ヲ格難易文において「意志の希薄化」を根拠とする容易さが表されるという結論を述べたが、「～にくい」ではどうであろうか。「～やすい」の場合、行為を行うことが前提となるため、そこに意志の強さが関与し、意志をもって行為を行う場合と、意志が薄れ、半ば自然と無意識に行う場合とに分けることができた。そして後者を理由にする容易さが、ヲ格によって表されているとしてもおかしくはない。だが「～にくい」の場合は、行為を遂行する上で困難さが伴っているため、意志が薄れ、自然とそうなるということは、そもそもの「～にくい」の意味に反する。したがって、ヲ格残留の「～にくい」文の意味を、「意志の希薄化」から

説明することはできないといえる。

ただ、昇格をブロックしているのは非意志性であるため、意志性の関与は捨てられない。ここで、考察のヒントとなりそうな例文を提示する。

- (85) お宮参りの際、子供を抱っこして母子共々包むような祝着をよく見かけますが、その中にはどんなものを着ればいいのでしょうか？和服を着ようかと思っていますが、子供を抱きにくいし、祝着と重ねると大変そうです。

(BCCWJ、Yahoo! 知恵袋、OC11_00440)

- (86) 和服を着ようかと思っていますが、子供が抱きにくいし

(85) における「子供を抱く」という行為は、行為者が積極的に行いたい行為ではない。重要なことはお宮参りであり、和服を着ることである。子供を抱くというのは、子供がいるから必要になるだけであり、その行為を遂行することが目的ではない。ただ、(86) のようにヲ格をガ格へ昇格させると、「子供を抱く」という行為に焦点が当てられているように感じられる。子供を抱くことが目的であり、重要であるような意味合いが感じられる。そのため、この文脈ではやや不自然になる。

昇格とは、文字通り格を繰り上げる行為であるため、その名詞句に焦点が当たることになる。そして同時にその行為に対しても焦点が当てられる。つまり、ガ格難易文は、基の動詞句が表す行為が、その文脈において重要な位置を占めており、視点者は当該の行為遂行に対して強い意志を持っていると考えられる。一方ヲ格難易文では、基の動詞句が表す行為に特に焦点が当たっているわけではなく、ガ格に比べて視点者の行為に対する意識は薄まっているといえよう。

この、「行為に対する焦点」という観点から、(63)～(66) における昇格難易文と残留難易文の違いについて見ていきたい。(64a) では、就業規則における休暇の規準が話題となっており、有給休暇が無い場合は違法とまでいっているため、「有給休暇を取る」ことに焦点が当たっている。一方、(64b) では、有給休暇を取り残す理由がテーマとなっており、ここでは「職場の周囲の人が取らない」ことが重要である。そのため、「有給休暇を取る」ことには既に焦点が当たっていないといえる。(66a) でも、「松江で隠岐の情報を得る」ことが重要であるが、(66b) で「有効な目撃情報を得る (ことができない)」ことは「人からの捜査」が困難となる原因の一つであり、焦点が当たっているとはいえない。(65) (67) においても、ガ格難易文ではヲ格難易文よりも行為そのものに焦点が当たっていることが読み取れる。

以上のことから、ガ格難易文とヲ格難易文の違いについては、話題の焦点が当たっているか否かに求められる、ということを一応の結論としておきたい。ただ焦点が当

てられているか否かという違いは、意味の上では確認しにくく、(87)のような例文の際、ようやく浮き出てくる程度だといえる。意味の違いが見出しにくいということは、それだけ格の交替も自由に行われることにつながるといえよう。コーパスの検索結果数から残留難易文の使用割合を見ると、「～やすい」は全体の約12%、「～にくい」は約17%であり、「～にくい」の方がよりヲ格難易文が使用されていることがわかる。この数値は、「～やすい」に比べ「～にくい」の方がガ格難易文とヲ格難易文で意味の違いが生じにくいことを反映しているのかもしれない。

5. まとめと今後の課題

本稿ではコーパスの実例観察を通し、ガ格難易文をヲ格に、ヲ格難易文をガ格へと格交替させた場合、どのような意味の違いが生じるのかについて考察してきた。本稿で明らかになったことを以下に示す。

【格交替と意味の問題】

- ・「～やすい」「～にくい」の昇格をブロックするのは非意志性である。
- ・「～やすい」「～にくい」のヲ格復元をブロックするのは評価性、主題化可能性である。
- ・「～やすい」のヲ格復元には「意志の希薄化」が関与する。
- ・動詞の意味によって希薄化が可能なものと不可能なものがある。
- ・希薄化が可能なものは、ヲ格復元によって、「意志の希薄化による容易さ」が表されるようになる。
- ・希薄化が不可能なものは、構文的（「～する」や連体修飾）にヲ格が要請される。
- ・ヲ格の使用が構文的要請に基づく場合、昇格難易文との違いを見出しにくい。
- ・「～にくい」では格の選択によって「動作の重要度」が表される。
- ・ガ格使用で、その行為の遂行に重点が置かれる。（意志性高い）
- ・ヲ格使用で、その行為の遂行に重点が置かれなくなる。（意志性低い）

以上の結論は、当然問題がないわけではない。まず、ヲ格復元をブロックする評価性であるが、何をもちて評価性を表しているのか、という点があいまいだといえる。本稿では、文脈から判断し、名詞句の難易の属性について評価を表していると感じられるものに対して評価性というタグ付けをしたが、その基準については明らかにできていない。同様のことは「意志の希薄化」についてもいえる。本稿では意味論的に難易文の格交替について論じたが、ガ格難易文とヲ格難易文では、語構成的にも異なっ

ているといえる。ガ格難易文は [[名詞句+ガ]+[V ヤスイ/ニクイ]] という構造を持つが、ヲ格難易文は、[[名詞句+ヲ+V]+ヤスイ/ニクイ] という構造を持つと考えられる。これは、V とヤスイ/ニクイの間に切れ目があるかないか、という問題になり、動作性、状態性の問題にもつながってくる。このような語構成の視点も導入すべきであろう。本稿での分析を通して生じた問題については、今後の課題としたい。

脚注

- 1) 難易文から難易形式を除いたもの。「このパンは一口サイズで食べやすい」であれば「このパンを食べる」が基の動詞句である。井上(1976)での「補文」に相当する。
- 2) ゆえに単純にガ・ヲ交替と呼ぶのは正確ではなく、ガ格とガ格以外の交替という言い方が正しいが、本稿では考察対象をガとヲの交替に限定しているので、ガ・ヲ交替と称する。
- 3) 基の動詞句のガ格は降格しうる（「太郎がこの本が読みやすい」（加藤 2008：134））ため、ガ格残留もありうる（「太郎がこの本が読みやすい」【残留+昇格】）が、この場合は残留難易文と見なさない。
- 4) コーパスからの例文に示した下線や太字は筆者による。
- 5) 加藤（2008）からの用語。加藤は、「事態の影響をなんらかの形で被る者」としているが、本稿では、「難易の評価を下す者」という意味で用いる。
- 6) 意志の希薄化の例としては、以下のようなものもある。
 - (i) 小柄で細い、これがお店側にしては都合が良いんです。それに小柄な女性のほうが、お客様に圧迫感を与えないので商品を売りやすいんです。[残留]
(BCCWJ、Yahoo!知恵袋、OC09_00486)これは、「売ろうとしなくても売れる」と解釈できる。
- 7) 二重ヲ格と違って、二重ガ格は非文法的になるわけではないので、二重ガ格の難易文も当然ある。
 - (i) 子供のいる主婦は会社で嫌がられるんですよね。嘘というか、「子供のことで休みません」という人は多いです。でも、子供は病気になるやすいですし、その言葉を鵜呑みに採用はしません。私の会社では、子供のいる人は実家が近いこと、もしくは親と同居のことが採用の条件になっています。あと配偶者が有休が取りやすいとかも条件です。（BCCWJ、Yahoo!知恵袋、OC04_02055）ただし、以下のような例を見ると、積極的に二重ガ格が避けられているようである。
 - (ii) 格安航空券の料金に関わる諸条件要約●誰もが休暇を取りやすい時期（年末年始、ゴールデン・ウィーク、お盆などがピーク）ほど高く、逆に休暇を取らない時期は安い。（BCCWJ、『東南アジア』LBp2_00026）

参考文献

1. 井上和子（1976）『変形文法と日本語（上）』大修館書店。
2. Inoue, Kazuko (1978) "'Tough sentences' in Japanese". In: John Hinds, Irwin Howard (eds.)

Problems in Japanese Syntax and Semantics, 722-154. Tokyo: Kaitakusha.

3. 大江元貴 (2014) 「日本語と中国語の可能・難易表現に関する認知論的・語用論的研究」博士學位論文 (筑波大学).
4. 加藤紀子 (2001) 「日本語の可能・自発と難易文」『意味と形のインターフェイス 中右実教授還暦記念論文集 上巻』293-303 くろしお出版.
5. 加藤重広 (2008) 「日本語における昇格と降格」『日本語受動構文の構造的意味と推意に関する語用論的原理の記述的研究』129-146.
6. 加藤重広 (2013) 『日本語統語特性論』北海道大学出版会.
7. 桑田瑠璃子 (1992) 「『～にくい、～やすい』における用例と誤用の分析」. 『東北大学日本語教育研究論集』7: 54-67.
8. 近藤裕子 (2005) 「『～やすい/にくい』の意味・用法について—話し手の評価と用法上の制約」『国文学踏査』17: 216-206.
9. 佐藤ちゑ子 (1988) 「難易文の派生について」『文経論叢 人文学科篇』9: 69-88.
10. 嶋村誠 (1980) 「難易文管見」『神戸学院大学紀要』10: 101-118.
11. 島岡紀子 (1998) 「難易文と『がちだ』文」『筑波応用言語学研究』5: 15-28.
12. 鈴木基伸 (2014) 「ヤスイ・ニクイの意味決定に関与する名詞句の意味役割」『大手前大学論集』14: 155-170.
13. 鈴木基伸 (2016) 「ヤスイ・ニクイの意味と成立要件」『大手前大学論集』16: 75-87.
14. 日本語記述文法研究会 (2009) 『現代日本語文法2』くろしお出版.
15. 藤家智子 (1998) 「難易文に関する一考察: 『～やすい/にくい』の意味・用法をめぐって」『日本語・日本文化研究』6: 28-42.
16. 三木望 (1998) 「難易構文の『やすい』の解釈について」『京都精華大学紀要』15: 182-193.
17. 森田良行 (1977) 『基礎日本語—意味と使い方—』角川書店.
18. 渡邊績央 (2007) 「日本語の難易文」『東京大学言語学論集』26: 185-228.